

# 愛護の道

第107号  
令和3年9月



## 四園合同 身体リズム運動遊び

(金ヶ崎保育園・東水沢保育園・たんぽぽ保育園・第二東水沢保育園)

### — 経営理念・信条 —

たった一人しかない自分を  
たった一度しかない人生を  
本当に生かさなかつたら  
人間生まれた甲斐がないじゃないか  
～「路傍の石」の一節～

発行者 社会福祉法人愛護会  
理事長 及川紀美子

〒023-0132  
岩手県奥州市水沢羽田町字水無沢491番地  
TEL 0197-25-3732  
FAX 0197-25-6662  
E-mail honbu-jimukyoku@aigokai.jp  
HP <http://www.aigokai.jp/>

# ご挨拶



社会福祉法人 愛護会 理事長 及川 紀美子

過日、改選後の理事会において互選の結果、引き続き理事長の職を担うことになりました。今までも皆様にお支え頂き職務を何とか全うしてまいりましたが、新しい時代に相応しい法人を目指し課題を一つ一つクリアし、微力ながら歩みを進めてまいりたいと決意を新たにしているところです。これからも皆様方の力強いお支え、よろしくお願ひいたします。

今、私ども愛護会では、法改正に対処し5か年という中長期の見

通しを持った計画を立て、独自の課題を解決しながら持続可能な法人として地域に貢献する役割を全う出来る体制づくりを進めてまいります。今年度から第4次の5

か年計画を実践する段階に入っています。今回の計画では、特に

も保育事業部会の少子化に合わせた特色ある保育経営のあり方を始

み、誰一人取り残さない、誰もが幸せに暮らせる地域共生社会の実

団体との連携を密にし、地域のさまざまな福祉課題を受け止め、共に解決へ向けて積極的に取り組

に求められ、期待もされております「地域公益活動」には、今、取り組んでいるIWATEあんしん

サポート事業を中心に愛護会地域福祉推進協議会の地域賛助会員皆様との連携、また関係する機関や

現に貢献してまいりたいと考えております。

皆様には今後とも変わらぬご支援を心よりお願い申し上げ挨拶といたします。

## 愛護会役員等名簿

◎第27期 理事（6名）・監事（3名）  
(令和3年6月29日改選)

理事長	及川紀美子	再任
専務理事	千田 寿人	再任
理事	千葉 信男	再任
理事	村上 和男	再任
理事	小澤 和枝	再任
理事	佐々木利昌	新任
監事	遠藤 計悦	再任
監事	齋藤 和博	再任
監事	後藤 清恒	再任

◎第9期 評議員（7名）  
(令和3年6月29日改選)

評議員	佐々木良光	再任
評議員	千葉 洋子	再任
評議員	眞柳 秀昭	再任
評議員	氏家富士子	再任
評議員	高橋喜久子	再任
評議員	加藤 昭	再任
評議員	佐々木哲也	新任

◎評議員選任・解任委員会委員（4名）  
(令和2年12月15日改選)

外部委員	佐々木與市	再任
外部委員	岩渕 修	再任
監事代表	遠藤 計悦	再任
職員代表	小野寺敏也	再任



# 法人及び経営施設の課題と実践

専務理事 千田寿人

令和三年六月二十九日付け  
で、法人理事・監事・評議員の  
新たな任期が始まり、さらに、  
及川紀美子理事長のもと本格的  
な「新体制づくり第四次五ヶ年  
計画」の実践が始まりました。

また、今年度の法人の実践課  
題を次のとおり掲げ、役職員一  
丸となって推進して参ります。

一 社会福祉法等の改正への対応  
社会福祉制度改革を主な内容  
とした社会福祉法等の一部改正  
(平成二十八年)から四年が経  
過し、この間、組織の在り方や  
運営の透明性など経営会議にお  
いて検証しながら適正な法人經  
營に取り組んで参りました。そ

れでも、法解釈の読み間違いが  
あり、中には修正を余儀なくさ  
れる事案も発生しました。

また、地域共生社会の実現の  
ための社会福祉法等の一部改正  
が公布され、令和三年四月一日  
から施行されました。今後も社

会福祉法人の公益性・非営利性  
にふさわしい組織として社会に  
貢献するとともに、事業の透明  
性の向上を図るため、次につい  
て経営会議で検証を進めて参り  
ます。

○経営組織の在り方  
・理事、監事、理事会、評議  
員会、会計監査人  
○運営の透明性の確保の在り方  
・財務諸表、現況報告書、役

- 業務運営、財務運営の在り方  
・残余財産の明確化と福祉  
サービスへの再投下
- 地域における公益的な取組  
を実施する責務
- ・生活困窮世帯等への支援
- ・就労準備ボランティア
- ・家庭裁判所からの補導委託

の受託

## ・その他既存の制度の対象と ならないサービスへの対応

○社会福祉連携推進法人制度  
の課題調査

・制度の理解、経営支援業  
務、物資等供給業務、資金  
の貸付業務等

## 二 新体制づくり第四次五ヶ年計 画の実践

### 二 新体制づくり第四次五ヶ年計 画の実践

#### 二 新体制づくり第四次五ヶ年計 画の実践

新体制づくり第四次五ヶ年計  
画は、過去五年間の取組内容や  
成果、課題の振り返りから本計  
画に繋げるものや、現状分析か  
ら抽出した課題を四つの視点  
(経営満足の視点、利用者満足  
の視点、職員満足の視点、地域

満足の視点)に分類し、五年後  
に到達すべき目標を掲げており  
ます。目標達成のための実行計  
画、評価指標等により、達成  
度、効果・成果、積み残しを検  
証、もつて、法人理念の実現を  
図るため施設職員幹部協議会に  
おいて進捗管理を行って参りま  
す。

## 三 職員の資質向上

職員の資質向上と福祉サービ  
スの供給体制の整備、福祉サー  
ビスの充実を図るため、以下に  
ついて取り組みます。

○職員の資質向上を図るため、  
目標管理シートで自らが目  
標を設定、年間の振り返り  
で自己評価と達成度を確認  
する。

○管理職の意識改革を図るた  
め、経営意識チエックリスト  
トにより行動達成度の自己  
評価を行う。また、改善の  
ための実践計画を掲げ管理  
職のあるべき姿を目指す。  
○決算財務分析により、課題

を読み取る力を身に付け、

健全経営と福祉サービスの  
向上をめざす。

四  
人財の確保に向けて

## 定年継続雇用職員の確保を図

る一方、将来の法人事業を担う人財の確保、定年職員の後任や

六 福祉分野のICT導入による

業務効率化の検討

産休・育休を保障する人事体制を充実させるため、広く情報を

現を図ります。

人財サポート部門を位置付け、積極的に企業説明会・就職相談会に参加、もつて人財確保の実績を発信するとともに、法人組織に

## 五 内部管理体制の充実

経営の合理化・効率化および業務の適正な遂行を図るための組織として、業務執行機関からの独立性を有した内部監査部門（プロジェクトチーム）により、

各事業所の職務執行状況等を定期的に監査します。

七 特色を持たせ、強みを生かし

た保育経営の検討

たくましい子を生み育てる保育方針に加え、三点について検

九 介護人材の確保と看取りの在

り方の検討

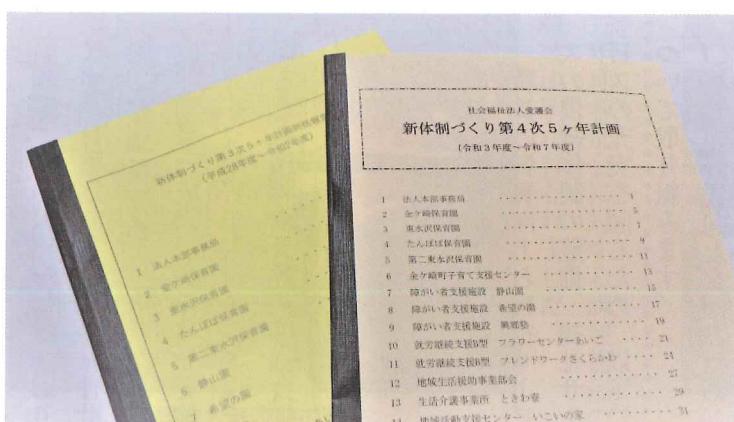
八 障がい者支援施設、障がい福祉サービス事業の意義と在り方の検討

ソーシャルインクルージョンの理念を踏まえ、入所施設の存続の意義を考えるとともに、障がい者の高齢化に対応する施設の在り方を検討するとともに、ますます求められる地域生活支援と就労支援の充実を検討して参ります。

尊厳ある生活を支援するにあたり、看取りの在り方について検討して参ります。

たつた一人しかない自分を  
たつた一度しかない人生を  
本当に生かさなかつたら  
人間生まれた甲斐がないじゃない  
か

この法人理念に向かい、前述の  
課題に取り組んで参ります。



## 保育事業部会の課題

保育事業部会長 小澤和枝

いま、全国的に少子化が進む一方で、保育の需要は増え続け、保育所の定員増（〇・一歳児）や小規模保育所が増えています。しかしながら、奥州市内では小規模保育所の増加と保育士の不足等により、定員を下げた保育園が数か所でてています。金ヶ崎町においても、三つ目の小規模保育所の開設に伴い、既存の保育園での三歳未満児の入所の減少が見受けられます。このことを保育事業の転換期ととらえ、令和三年度は、保育園の生き残りをかけ、様々な情報を集め、学習を行いながら、事業の安定を図っていくこととし、次の

- (3) 施設の老朽化に伴う、大規

三つの課題に取り組んで参ります。

- ① 今後五年間の出生の動向や乳幼児施設の園児数の推移等を調査する。その動向を踏まえ、愛護会の四つの保育園の定員や各年齢の受入れ人数等を考え安定した経営を目指す。

今年度も、昨年同様、新しい生活様式に沿って、日々の保育、園内での行事等を進めて参ります。いつかコロナ禍が終息し、園外保育としていろんな場所に自由に出かけられること、地域の方々をお呼び楽しく交流できる行事ができる

模な改築や修繕に向けて必要な資金の積立てを計画的に行う。昨年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止策として、看護師を中心とした職員による毎日の消毒や換気、検温等緊張の中での保育となりました。行事については、いつもと違い、地域の方や来賓をお呼びせず、感染に配慮しながら、園児と保護者、職員のみで行いました。それでも保育の質は下げないよう工夫し、子どもたちには例年に劣らないしっかりとした体験をさせることができました。



1歳児 手指の遊び



2歳児 泥んこ遊び

ることを願います。

## 障がい者援護事業部会の課題

障がい者援護事業部会長 村上和男

コロナワクチン接種が高齢者及び医療従事者を優先に順次進められており、愛護会に於いても職域接種により利用者、職員を対象に8月初旬に2回目の接種を終えることが出来ました。しかし、感染拡大は留まることを知らず、緊急事態宣言や蔓延防止対応の都道府県も増え続け、先の見えない状況の中、基本的な感染予防の継続が大切であると気を引き締めております。

さて、今年度の課題についてですが、昨年度より、次世代を担つていただける職員を中心に第4次的新体制作りの計画を作成してい

ただき、部会の共通課題として次 の6つの取組を掲げ、新たな体制作りをスタートさせています。

- ①新体制づくりの整備検討（既存建物の老朽化への対応・新たなサービス体系の調査・研究）
- ②利用者の重度・高齢化への対応（支援体制の整備、生活環境の改善）
- ③職員人材確保、育成（職員研修の推進、専門資格取得の推進、魅力ある職場への転換）
- ④地域との連携（ボランティア受け入れ・地域貢献活動の推進、地域交流の推進）

以上のように6つの課題を掲げてありますが、特に既存建物の老朽化への対応については、2つの入所施設において40年以上が経過し、老朽化と共に利用者の重度・高齢化に伴い住みにくい環境に変化していると共に安全への配慮も構造的に難しい状況にあります。数年前より専門委員会を立て、土地の確保、基本設計、新たなサービス体系等について調査研究を進めているところです。人材の確保、育成についても少子高齢化に伴い、恒久的に人材不足が生じていくことが予想されていますが、人と人の関わりがベースとなる業種ですから必要な人材が確保

でき扱い手として育つていける環境づくりに努めていきたいと思います。課題は山積していますがアクションプランに沿って着実な成果と実績に繋げていけるように努力しています。今後も関係各位の御支援、御協力を御願い致します。



フラワーセンターあいご 寄せ植え



フラワーセンターあいご ラナンキュラス

## 障がい者地域生活援助事業部会の課題 ～地域とともに～

障がい者地域生活援助事業部会長 佐々木 利 昌

この度の役員改選において、愛護会理事ならびに事業部会長の辞令を頂戴し、六月二十九日付をもちまして就任いたしました。前部会長が突然逝去され、いくぶんとまどいもありますが、その使命を果たすべく努力して参ります。

ところで、コロナウィルスがまた延する中、地域支援をするグループホームを始め、生活介護事業所、相談支援事業所、基幹相談支援センター、地域活動支援センターでは、直接支援、間接支援を含め、濃厚接触を避けるには難しい環境にあります。地域で一旦、広がりを見せた時の影響は図りし

れず、様々な決断と迷いながらの運営になります。

そのような難しいかじ取りの中、今年度は次の6つの課題に取り組んでいきます。

①コロナ禍により利用者へのサービス提供が変化しつつあ

るため、自己点検し、更なる質の向上を目指していきます。  
地域を支える私たちは、多くの価値観が違う方々を支援しています。このコロナ禍、利用者も職員も今までとは違う価値観を大切にします。このコロナ禍、利用者も職員も今までとは違う価値観を大切にしながら今年度も誠心誠意支援していくたいと思いますので、前部会長同様のご指導、ご高配を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

③人材確保の観点から、採用活

動、職員の職場定着を更に強化しながら、資格の取得、自己研鑽に努め職員の資質向上に努めていきます。

④地域のネットワークを大切に

し、地域で求められる支援は何かを考えながら、新しい事業展開を検討していきます。

⑤奥州市基幹相談支援センターの安定的な運営をし、より一層、役割や機能を充実させて

タイトル レインボーザ「ネコ」



作者 工藤雅穂さん（グループホーム利用者）



# 長寿福祉事業部会の課題

(共生型短期入所事業含む)

⑤ 施設運営の安定化

- ⑥ 介護機器導入の調査、検討  
⑦ 看取りの在り方についての調査、検討

長寿福祉事業部会長 千葉信男

長寿福祉事業部会の経営方針は、利用者様の暮らしを支える生活支援施設としての福祉サービスの提供、権利を擁護し支援の充実を図る為の研究と実践をすすめながら、各ユニットにおいて利用者様が相互に社会関係を築き、自律的な日常生活を営むことの出来る支援を行っていくことだと考えております。

少するものと考えております。しかし、引き続き感染者を出さないようになります。対策を継続しながら「あたらしい生き様式」の定着を図って参ります。さて、今年度の課題は、次の七点を掲げております。

課題解決には「職員体制の構築」が基本であり、先ずは既存職員の定着、職員確保が先決であると捉えています。

さらに、「短期入所事業の利用促進」においては、「緊急短期入所受入による静養室の活用」や「空床利用」も含めて稼働率一〇〇%を目指して参ります。今後

も、コロナ感染拡大防止対策や職員確保・定着などには苦慮すると想定されますが、「感謝」と「笑顔」を忘れずに、ご利用者の皆様が「健やか」に生活出来る年でありたいと考えております。

- ① 利用者、ご家族が安心して利用出来る施設体制の構築  
② 福祉サービスの質の向上並びに働き方改革による業務改善  
③ 職員体制の構築（人材確保、人材育成、離職防止など）

そんな中、新型コロナウイルス感染が日増しに拡大しており、今後の運営も気がかりでなりません。愛護苑では、利用者様も職員も2回目のワクチン接種を6月に終了しており、感染率は格段に減



夏祭り 輪投げゲーム



七夕 短冊づくり

## 新採用職員紹介

### 人事異動



地域生活援助センター  
生活支援員 小原 良子



者さんに寄り添った支援を心掛け、日々  
信用される支援員になるために、利用  
者さんに根気強く付き合う支援をしたい  
です。ご指導よろしくお願ひ致します。

愛護苑



介護職員 小林 琴海

利用者・入居者様一人ひとりが、今まで  
通りの生活を維持できる支援をし、毎  
日を楽しく過ごせるような環境づくりを  
していきたいです。よろしくお願ひしま  
す。

愛護苑



第二東水沢保育園  
保育士 千葉 彩夏

一歳児の担任をしており、子供たちの  
成長を保護者の方と一緒に喜んだり、一  
人ひとりに合った関わり方を考え実践し  
ながら日々保育に取り組んでいます。子  
供たちの気持ちを受け止め、一緒に成長  
していきたいと思います。よろしくお願  
いします。

興郷塾



生活支援員 道見 志野

至らぬ所ばかりではありますが、利用

者さんに寄り添った支援を心掛け、日々  
尽力してまいりたいと思います。よろし  
くお願ひ致します。



フラワーセンターあいご  
生活支援員 小野寺 莉

生活支援員として利用者の皆さんと仕  
事の楽しさ、やりがいのある作業を目指  
し支援していきたいと思います。皆さん  
の前では、笑顔を忘れず、明るく精一杯  
頑張りたいと思います。よろしくお願ひ  
致します。

愛護苑



介護職員 山口 翔

未熟なところばかりですが、利用者さ  
ん達が過ごしやすいよう精一杯支援し、  
先輩たちのような介護職員になれるよう  
頑張ります。



本部事務局財務課  
事務員 岩渕 彩華

まだまだ不慣れなことも多く未熟さを  
感じておりますが、先輩方のご指導の下  
迅速かつ正確に業務を遂行できるよう  
日々精進してまいりますので、よろしく  
お願ひ致します。

たんぽぽ保育園栄養士

安倍 扶美

東水沢保育園調理員 千葉 小百合

静山園生活支援員 佐々木 恵

令和三年四月一日付

(昇任人事)

金ヶ崎町子育て支援センター所長 松本レイ子  
金ヶ崎保育園副園長 熊谷みゆき

たんぽぽ保育園主任保育士 昆野 郁子  
静山園園長 高橋 篤

静山園生活支援員 高橋 康平

希望の園生活支援員 菊池 健美

希望の園生活支援部会次長 佐々木利昌

フレンドワークさくらかわ所長 千葉 克成

フレンドワークさくらかわ生活支援員 菅原 健

フレンドワークさくらかわサービス管理責任者 千葉 千鶴

相談支援センター主任相談支援専門員 中嶋 瞳

地域生活援助センター所長 伊藤 智之

地域生活援助センター介護部長 岩渕 香

地域生活援助センター介護部長 和賀 智子

地域生活援助センター介護部長 佐藤 一早

地域生活援助センター介護部長 及川 文人

地域生活援助センター介護部長 高橋 利江

地域生活援助センター介護部長 高橋 富貴子

地域生活援助センター介護部長 高橋 真由美

地域生活援助センター介護部長 小野奈津美

地域生活援助センター介護部長 佐藤 貴隆

地域生活援助センター介護部長 高橋 純子

地域生活援助センター介護部長 佐藤 智子

地域生活援助センター介護部長 法人本部事務局権利擁護課長 佐々木信雄

地域生活援助センター介護部長 佐藤 善美

地域生活援助センター介護部長 高橋 京子

地域生活援助センター介護部長 阿部 瑞穂

第二東水沢保育園保育士 三田 美幸

第二東水沢保育園栄養士 小澤 瑞穂

第二東水沢保育園調理員 高橋 和香

希望の園園長 阿部 京子

ときわ寮所長 高橋 明子

ときわ寮部長 中嶋 敏之

高橋 護

これまで愛護会では、職員一人ひとりが、それぞれテーマを決め、2年間の時間をかけて研究をするする「一人一研究」を行つてきました。

この研究成果は、研究紀要にまとめるとともに、優秀と認められた研究は「愛護会職員公開研究発表大会」で多くの皆様の前で発表してまいりました。研究紀要の発刊は第23号を数えたところで、職員の育成、資質向上に大きな役割を果たしてきました。愛護会の誇れる研究スタイルでした。しかし、働き方改革等求められる中で、この研究制度を時代に沿つたより良いものとすることを目的に、全職員に対してアンケート調査を実施しました。

結果は、「自身のスキルアップにつながる。」「いろいろな研究成果を見聞きすることは大変参考になる。」などの肯定的な意見があつた半面、「研究の時間を確保する

## チーム研修始めました

ことが難しく負担となつてはいる。」などの意見も見られたことから、新たな研修制度とするために一年

かけて職員の皆さんとの希望を聞きながら検討をすすめました。

この結果として、保育事業部会は3つのテーマ、援護事業部会・地域生活援助事業部会・長寿福祉事業部会・法人本部事務局は合同で12のテーマを定め、職員はそれぞれ自分の興味があるチームに所属して勤務時間内に集まり、研修と研究をすすめる「チーム研修」がスタートしました。コロナ禍で

計画通りに進めることができない。」など、肯定的な意見が多く聞かれています。「チーム研修」の成果は、3年目にチーム毎に発表を行い、全職員で情報共有を行う事としています。

中、オンラインの活用や密を避けた会場設定など、工夫しながら進めています。

## 理事長による経営方針説明

愛護会では、経営者から直接、経営理念や経営方針を聞く機会が設けられています。社会福祉の動向を確認するとともに、経営方針に対する具体的な取組課題を全職員で共有することを目的としています。

今年度は、社会福祉を取り巻く動向と第四次五ヶ年計画並びに令和



経営方針説明の様子

三年度各部会に対する課題提起の概要説明が行われました。



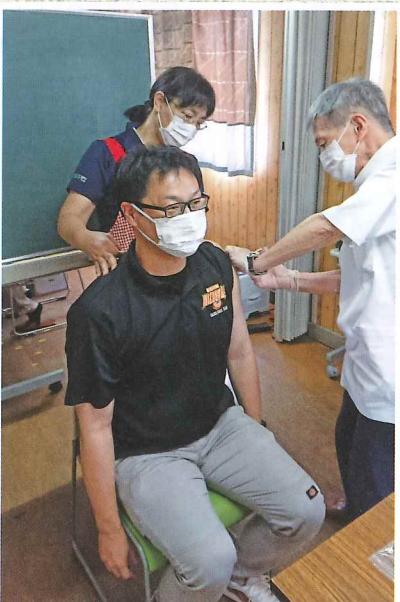
チーム研修の様子

## 新型コロナワクチン接種を受けました



当法人内において、産業医や嘱託医の医師及び看護師のご協力により、施設利用者及び職員を対象に新型コロナワクチン接種が行われました。入所施設利用者はもちろん、通所施設利用者やグループホーム入居者、そして職員合わせて約六〇〇名が2回接種済となり、安心して暮らせるようになりました。今後も適切な感染対策に務めて参ります。

ご協力いただきました先生、看護師さん本当にありがとうございました。



評報



現職の障がい者

地域生活援助事業  
部会長であつた

佐々木尚文理事が

令和三年五月十六日に急逝されました（享年六十七歳）。昭和五十三年四月に愛護会入職以来、

四十三年間に渡り多大なご尽力をいただきました。全国社会福祉大会表彰をはじめ、数々の功

績に対し表彰を受け、今年3月には、岩手県社会福祉法人経営者協議会会長より表彰され、経営者としての功績も認められました。

いつも職員の先頭に立ち、周囲に寛容で模範的な先輩として慕われておりました。心からご冥福をお祈りいたします。



佐千菅高及高長三今佐千石本菅小堤佐藤五金及佐山佐佐小佐菊高前菊三中渡三千佐千高細松千松佐佐大酒高人  
谷々野々日々夕々奥水沢市  
藤葉野葉橋川橋川浦野木葉川堂原寺内木井市野川藤崎藤木寺木地橋田池宅村辺浦葉藤葉橋川本田戸藤藤越井橋川江口  
茨木市

か彩裕奈加香睦絢は美誠小志 明七 叔千梨 牧ま裕貴和敏裕多力克將正雄久俊和正久惠昌和良卜美洋恵洋幸実  
お 保奈 る 百 日 雅 仰 義 智  
お夏希子澄美子な江子合乃香佳恵綾恵子歩香子み美隆之也子子郎文克三子弘也則子子子子子江子子一宜男

多くの方々より、たくさんの『まごころ』が寄せられました。大切に使わせていただきます  
ありがとうございました。



壬子 捕則和初高美上秀 美真康 齊高好 康秀 東 古美理准饗唯美夕英愛吉信保仲他 鮑唐毛 仲 沐戊鉤 丁

春代伸之子男子臣栄る一彩香凜太光幸弘人究平子海子修哉和恵郎海希紀君子明太子男夫未郎護郎祐美崇也映子美宏亨  
十加 侍则初向夫夷真原 貞向灯 康芳 忠 及夫延进今唯夫大父充亥信休宗仲 吉康彦仲 漱成音  
美 太 由美 澄 十賀子

徳後羽菊佐△前山藤田地藤沢▽由幸つ克加ゆ利子美忍宏  
徳後羽菊佐阿岩今藤渡千岩高千栗高三高菊高安柴遠小渡菅營渡高松岩佐千佐佐高人野城寺倍藤藤部測野沢辻葉渕橋田澤橋田橋地橋倍田藤寺辺原辺橋戸渕藤田木木橋沢▽由利美敏美優香 千美菜 紀行企画  
由照功和美美麻昌扶惠優な理ミ明真佑彩 真由子由  
博節陽陽 美利子守美男平志香子美悦香幸子美子美利花み恵子恵美美華彩人也雄美  
奈光彩光敏 良智智利の陽健  
工貴暢文優 奈津  
良智智利の陽健  
校業萬所子也枝太翼美春香昭之瞳子之昌子菜美

編集後記

新型コロナウイルスの猛威は変異株の蔓延もあり、収まる気配もなく人々の日常生活スタイルや環境の変化についていくのが精いっぱいのこの頃です。そんな中、賛否両論の中開催された東京オリンピック・パラリンピック、気が付けば日頃のストレスを解消するかのように、何もかも忘れて競技に没頭・競り合いの時には自宅で大声で応援していく声を出す爽快感忘れていました。